

新規事業評価調書

【砂防事業】

高瀬川

県土整備部
土木局 砂防課

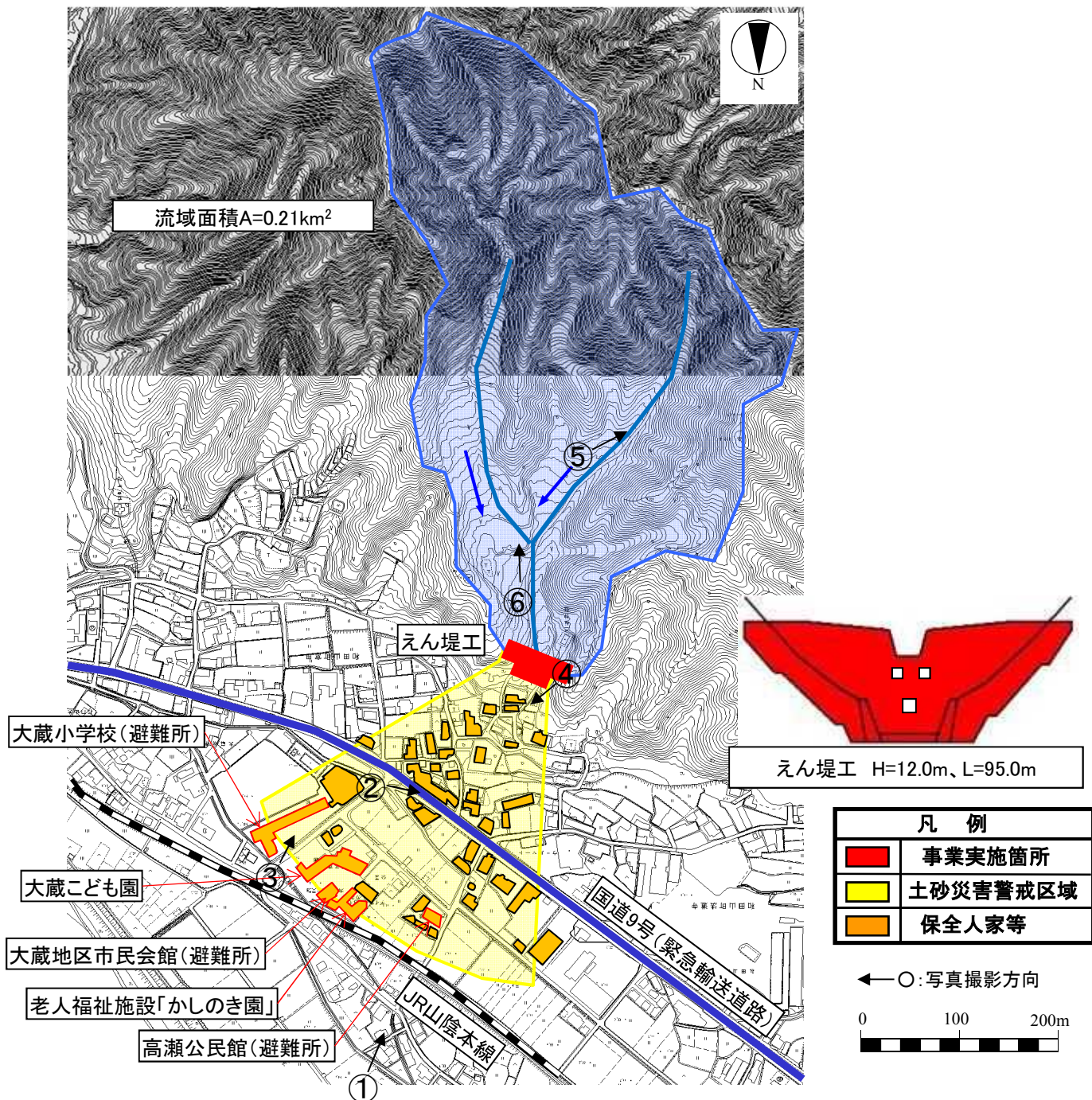
投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 高谷和彦 (主幹 (防災担当) 小倉正大)	内線	4459 (4467)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
砂防事業	通常砂防事業 たかせ 高瀬川	朝来市 わだやまちょうみやた 和田山町宮田	3.0 億円	0.1 億円	平成 29 年度	平成 32 年度
事業目的			事業内容			
<p>当地区は、土石流発生危険性が高いことから、土砂災害警戒区域となっており、保全対象は人家 43 戸、緊急輸送道路である国道、避難所である小学校及び公民館、保育園、老人福祉施設、市道などがある。</p> <p>そのため、地域の人命・財産を守り、安全・安心な暮らしを支えるために、「第 2 次山地防災・土砂災害対策 5 箇年計画 (H26～H30)」に基づき、砂防事業を実施する。</p>			<p>砂防えん堤工 1 基 (高さ 12.0m, 延長 95.0m) 【負担割合】 国・県：各 50%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>①高瀬川は、(一)円山川水系円山川に流入する土石流発生危険性が高い溪流(JR山陰本線養父駅より南東へ約2.3km)である。</p> <p>②近年の降雨により溪岸の侵食が進み、流域の荒廃が進行している。</p> <p>③溪床には土石が多く、土石流時に流出する可能性があり、谷出口には人家があることから、土砂災害危険性が高い。</p>					
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>①警戒避難体制の整備に加え、ハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。</p> <p>②地元要望が強く、工事用進入路の確保など、工事に対する地元の理解が得られていることから、円滑な事業執行が可能である。</p>					
(3) 環境適合性	①地山の改変を最小限にとどめ、環境保全に努める。					
(4) 優先性	①保全対象には人家43戸があるほか、緊急輸送道路である国道9号、避難所である大蔵小学校及び大蔵地区市民会館、高瀬公民館、大蔵こども園、老人福祉施設「かしのき園」、市道がある。また、溪岸の侵食が進み、流域の荒廃が進行していることから、早期事業着手を図る。					

た か せ か わ
高 瀬 川
 [朝 来 市]

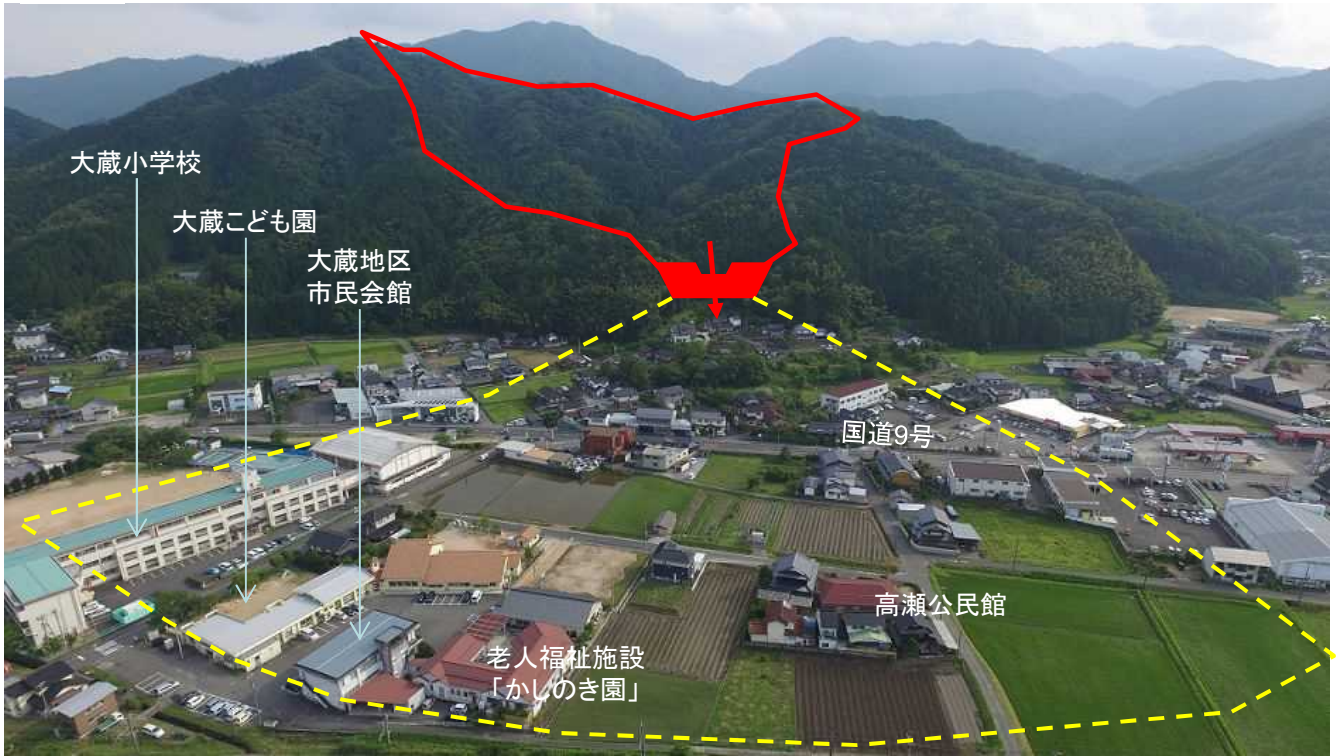


計 画 概 略 図



通常砂防事業 【 高瀬川（朝来市） 】

①全景



②保全対象 国道9号(緊急輸送道路)



③保全対象 大蔵小学校(避難所)



保全対象の状況

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
詳細設計	■■■■■			
用地買収		■■■■■■■■■■		
えん堤工			■■■■■■■■■■	

通常砂防事業 【 高瀬川（朝来市） 】



④谷出口付近の状況



⑤溪流荒廃状況



⑥溪流荒廃状況